

行財政改革大綱後期実施計画

実施事項名	新本庁舎建設の事前検討と評価			重点項目番号	4				
現状、問題点、必要性 (なぜやるのか)	【現状】 伊賀市の新本庁舎建設については、内部の検討委員会の答申や議会での調査研究等が行われており、その必要性も認識されている。 【問題点、必要性】 現在の本庁舎は築後40年以上が経過し、耐震性やバリアフリーへの配慮等課題を抱えている。 【現状の客観的な説明】 合併協定書において、新市の事務所の位置は当面の間旧上野市庁舎に置くとし、将来は総合的な視点から新たな位置について検討するとしている。			番号	⑥				
				担当課(執行する課)	総務部総務課				
				責任者名(執行責任者)	課長 森岡 良夫				
				担当課電話番号	0595-22-9610				
対象等(なにが、だれが)	伊賀市本庁舎を訪れる方及び利用する方			財政効果額(千円) (いくら削減されるのか、いくら収入増となるのか)	【金額】				
成果(対象がどうなるのか)	安全で分かりやすく利用しやすい庁舎が建設される。				【算定根拠】 ※本事業による直接の効果額や削減額は算定できない。				
実施する内容・目標数値 (対象を成果の状態にするために、何を、いつまでに、どのようにやるのか)	【実施内容】 庁舎建設に係る内外の協議を行い、建設計画を発表する。 【目標数値】 《最終目標》新庁舎構想を発表する。 《平成20年度の目標》外部を含めた建設に係る協議を行う。 《平成21年度の目標》新本庁舎構想を発表する。 【目標の客観的な説明】 合併協定書では、「将来は、総合的な視点から新たな設置について検討する。」としていることや、耐震強度が不足しており有事の際の拠点として機能しない等の問題がある。			特記事項	※バリアフリー…日常生活を営むうえで妨げとなるあらゆる障壁(バリア)を除去すること				
目標を達成するための活動指標(全体目標を達成するために個別に実施する項目) (何をどれだけやるのか)	活動指標名	目標値	定義・算定式		行程表(いつまでにやるのか)				
				平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				4月	10月	4月	10月	4月	10月
	外部を含めた建設に係る協議								
	新本庁舎建設構想発表								
	設計業務								